

●専門医等認定制度 診療実績表の改定について

※過日開催されました指導医・専門医制度委員会(7月19日)、理事会(9月10日)の承認を得て、2008年より診療実績表におけるAa項目の記載方法が下記の通り改正されました。

これまで、Aa項目の記載症例が1例でも欠けていた場合(無効症例や重複による削除も含む)、症例数不足で不合格となりましたが、今回の改定により、各手技項目に予備症例を記載することが可能となりました。

専門医等認定制度規則施行細則 診療実績表

【1. A(必要な手技)の症例数】について

改正前	改正後
<p>術者として行った症例を記載する。 このうち、a(必修の手技)はすべての手技項目につき5例ずつ、合計65例を記載する。一方、b(経験が望ましい手技)については各手技項目の記入数を3例までとして、合計で20例以上を記載する。</p>	<p>術者として行った症例を記載する。 このうち、a(必修の手技)はすべての手技項目につき5例ずつ、合計65例を記載するが、6例までの記載は可とする。一方、b(経験が望ましい手技)については各手技項目の記入数を3例までとして、合計で20例以上を記載する。</p>

診療実績表記入例

(専門医書式第5号)

専門医診療実績表 (A: 必要な手技)

年齢	性	病名	年月日	施設名	施設番号	診療科(部)名	指導者の診療科(部)・役職	指導者名	印
----	---	----	-----	-----	------	---------	---------------	------	---

a. (01) 心肺蘇生法

1	66	男	急性心筋梗塞	07/1/12	某県立某総合病院	1234	救命救急センター	救命救急センター・センター長	救急太郎 印
2									
3									
4									
5									
予備									

➤改正された診療実績表は、専門医制度(<http://www.jaam.jp/html/listofnames/senmoni.htm>)に掲載されています。